

NOUVELLES DE PARIS 号外

決定 公演会場は サン・トゥスタッシュ教会

モーツァルトが演奏をした教会

この教会は、ノートルダム大聖堂を見本にして造られたパリで最も美しい外観を持つと言われる教会です。かつて、何世紀にもわたり偉大な音楽家たちにより音楽の伝統を受け継いできました。ベルリオーズ、フランク、リストなど数多くの有名な作曲家達がコンサートを行なっています。現在もフィルハーモニックグループ、合唱団、名高いフェスティバルを開催しています。8000本の巨大なパイプオルガンでも有名で、ミサ・コンサートも開かれています。荘厳な音色に包まれてみたいですね。



教会内での演奏会イメージ



また教会前の広場には巨大な顔の不思議なオブジェがあります。これはフランスの彫刻家アンリ・ドゥ・ミラー (Henri de Miller / 1953-

1999) による「L'Ecoute」(聴く) という名前の彫刻作品です。石の顔が横たわり、大きな手を耳に当てて大地の音を聴いています。



「天に届くスタンドグラス」高い天井に輝く、色鮮やかな美しいスタンドグラスはとても素晴らしいです。キリスト誕生を描いたものもあります。太陽光が差し込むと、様々な色が浮かび上がり幻想的な雰囲気の中で、スタンドグラスの美しさが輝きを放っています。

サン・トゥスタッシュ教会
詳しくはこちらをご覧ください
<https://youtu.be/B4G-naLingu?si=v530-Tu-lGtpX8q>



決定 オーケストラは マッシー・オペラ管弦楽団



マッシー・オペラ管弦楽団と
指揮者コンスタンタン・ルイツ氏
詳しくはこちらをご覧ください
<https://orchestredemassy.com/>



1989年にドミニク・ルイツによって設立されたフランスのオーケストラで、マッシー・オペラの中核を担っています。年間約50回の公演と教育活動を行い、クラシック音楽の普及や地域文化の発展に貢献しています。レパートリーは交響曲からオペラまで幅広く、若手音楽家の育成や地域との連携にも力を入れています。現在の音楽監督はコンスタンタン・ルイツで、芸術顧問は創設者のドミニク・ルイツ。教育活動や国際的な演奏活動にも積極的に取り組むオーケストラです。

指揮者はギエ
ム・テライユ氏
になりました

指揮者は コンスタンタン・ルイツ氏

ルイツ氏は
マッシーのト
ップです



Constantin Rouits

音楽監督・指揮者。2013年よりマッシー・オペラ管弦楽団の常任指揮者。ジュネーヴ室内管弦楽団、ローザンヌ・シンフォニエッタ、オーヴェルニュ管弦楽団などで経験を積み、エドガー・モロー、サラ・ネムタヌなど著名ソリストと共演しています。オペラ分野でも活躍し、『仮面舞踏会』『セビリアの理髪師』『フィガロの結婚』などを指揮しています。また、音楽監督として、多くの映画音楽録音やコンサートに携わっています。教育活動にも積極的で、若者向けのオペラ・交響プロジェクトを多数指揮しています。もとはチェロ奏者で、パリ国立高等音楽院およびエコール・ノルマル音楽院で指揮を学びました。

交渉を重ねた結果、公演会場はサン・シュルピス教会ではなく、音楽性に優れたサン・トゥスタッシュ教会と契約することができました。また、オーケストラもパリ屈指のマッシー・オペラ歌劇場の管弦楽団に決定いたしました。